

令和5年10月24日

泉南市議会議長
森 裕文 様

まちづくり等成長戦略調査特別委員会
委員長 田畑 仁

まちづくり等成長戦略調査特別委員会 行政視察報告書

下記の通り行政視察を実施いたしましたので、その概要を報告いたします。

- 【視 察 日】** 令和5年10月23日（月）
- 【視察参加者】**

委員長	田畑 仁	副委員長	楠 成明
委員	添田 詩織	委員	石橋 正敏
委員	谷藤 麻由奈	委員	竹田 光良
委員	堀口 和弘	委員	岡田 好子（副議長）
- 【視 察 先】** 関西国際空港（関西エアポート株式会社）
- 【調査事項】** 関西国際空港の再整備内容等について
- 【視察目的】** 開港から来年で30周年となる関西国際空港は、コロナ禍を経て、インバウンドの回復に合わせて、空港内の再整備がされている。
成長戦略及び空港関連事業の調査研究を目的とする、本特別委員会として、関西国際空港の現状及び、新たな整備内容等について把握するため。
- 【概要】**

関西エアポート（株）から、関西国際空港のコロナ禍からの回復状況、関西国際空港と他空港との比較などについて説明を受けた。

当初、世界への拠点となるハブ空港を目指していたが、現在では、関西一円を目的地とするゲートウェイ空港としての利用がメインとなってきている。その為、目的地としての地域の魅力づくりが非常に重要となってきているとのこと。

また、関西国際空港の国際線に締める外国人の割合は67%と成田国際空港の50%、中部国際空港の51%と比較すると多く、外国人旅客数も成田国際空港と遜色ない数となっている。

西日本地域を訪問するインバウンドの関西国際空港利用率は岡山で 40%、高知で 50%など、目的地の地方空港に直接訪れるのではなく、関西国際空港を経由し、陸路等での移動をしている率が高いことなどが説明された。

その為、今後は万博等の大きなイベントにも期待をよせているが、地域のさらなる魅力向上により、空港も成長していくとの考えから、周辺自治体との協力による体験型のツアーなどの企画に取り組んでいるとのことであった。

関西エアポート（株）からの説明の後、安全とセキュリティの取り組みについて、今後予定されている万博やカジノ等を空港とどのようにリンクしていくのか、南ルートに関する空港としての考えなどについて、質疑及び意見交換を行った。



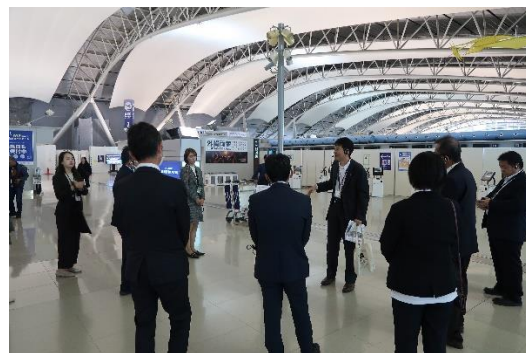
研修の様子



研修の様子



1階到着ロビー内



4階国際線チェックインカウンターエリア

7. 【所感】

空港開港から約 30 年経過し、開港当初とは様変わりしている関西国際空港を取り巻く状況やそれに応じて段階的に改修を行っている空港内施設について、説明を受け、見学をおこなうことにより、空港所在市の議員として現状把握をし、今後の市の様々な事業等の参考にすることができた。